

1 自己評価及び外部評価票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2090100401		
法人名	有限会社ながの介護センター		
事業所名	グループホームグリーンテラス愛		
所在地	長野市小島田町1790		
自己評価作成日	平成30年10月11日	評価結果市町村受理日	平成31年3月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・利用者ひとりひとりに寄り添いどんなことも利用者、家族と相談し、本人の意向を尊重することを基本とし、ユマニチュード(優しさを伝える介護技術)を実践している。
 ・かかりつけ医と訪問看護ステーションと密に連携し、24時間365日の医療連携体制を整えている。毎日バイタルチェックを行い何かあれば医療機関に報告、連絡、相談できる体制がとれている。
 ・研修を受け、職員のケアの質の向上を図っている。定期に個別ケアプランについて話し合い更新する中で利用者が元気に安心して暮らせる生活の実現に向けて取り組んでいる。

事業所の基本情報は、公表センターで閲覧してください(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaiyokensaku.nhw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kan=true&IigoyosyoCd=2090100401-00&PrefCd=20&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人環境・福祉事業評価センター
所在地	長野県長野市南高田2-5-16
訪問調査日	平成30年11月14日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

当ホームの玄関先には高校生ボランティアと一緒に鉢植えされた沢山のきれいなお花が鮮やかでした。玄関を入るとその時のスナップ写真がとても温かみを感じます。利用者に接する職員の声かけ、行動等、ひとりひとりの利用者に寄り添い、利用者本位に取り組む等ユマニチュードを実践している。健康管理、異常時の早期発見、対応ができるように症状等、かかりつけ医、訪問看護ステーションとは昼夜問わずいつでも密に連絡を取り、相談できる仕組みがある。職員は外部研修に参加し職員会で情報の共有、ケアプランの見直し等、全職員は個別ケアの質の向上に取り組んでいる。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します。ユニットが複数ある場合は、ユニットごとに作成してください。

ユニット名(あさがお)			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる。 (参考項目: 23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目: 9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目: 18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目: 2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目: 38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目: 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目: 36,37)	66	職員は、活き活きと働いている。 (11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目: 49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目: 30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目: 28)		

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します。					
ユニット名(ひまわり)					
項目		取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる。 (参考項目：23,24,25)	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんど揃んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2,20)	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている。 (11,12)	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない			